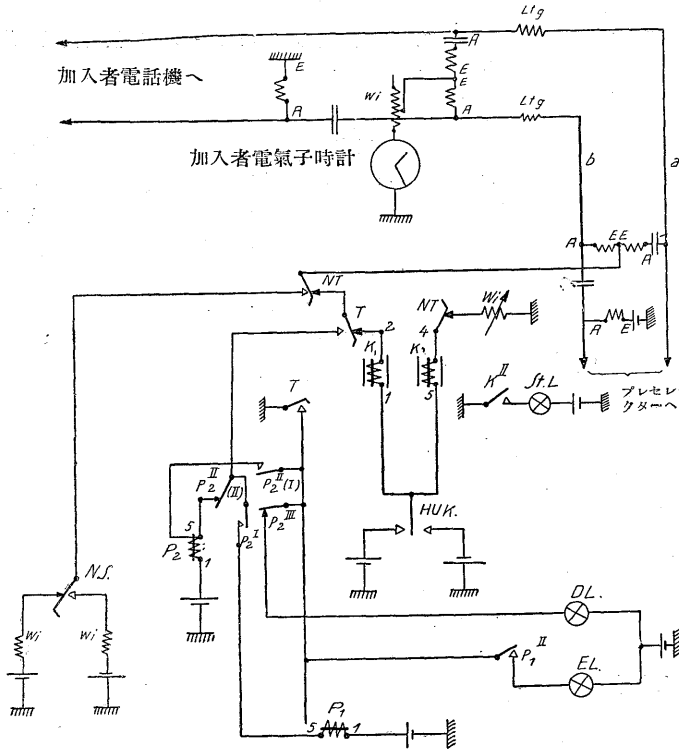


第二圖

電話加入者線を利用する電氣時計装置の結線圖



P₂(III)を通じて電流が通じ、断線監視ランプ D.L. が点火した儘になつてゐる。

接地監視

b線に接地が生じたとなると、子時計の抵抗が短縮されて差働リレー K の平衡が破れる故、接点 K^{II} が閉じて（但し親時計から電流が送られてゐる時間の間）

障害監視ランプ St.L. が点火する。試験電鍵 T が押されると b 線が接地してゐれば、接点 P₂II (II) から電流が流れてその接点 P₂I 及 P₂II(I) が閉じ、接点 P₂II (II) 及 P₂III が開放されリレー P₁ が働作して接点 P₁II を閉ぢる。接地せる試験電鍵の接点 T 及 P₂II (I) を通じてリレー P₂ は働作し続ける故、接点 P₁II が閉ぢて接地監視ランプ E.L. を点火する。

b 線の断線及接地の恢復せる後には、試験電鍵 T が開かれる故、リレー P₁ 及 P₂ は電流が通らず、調整電鍵 N.T. が閉づ。調整電鍵 N.S. により加入者側の休止せる子時計は中央装置から正確なる時刻に調整され、N.T. が原位置に復した後は時計は再び通常の働作を始める。リレー K₁ 及 K₂ が正しく働作するには K₂ リレーは約六ミリアムペア、K₁ リレーは約十六ミリアムペアを通す様に調整されてゐる。各加入者側子時計用の電流は六十ボルトの働作電圧に於て常に十六ミリアムペアを流す様に、加入者側補助函の抵抗を調整する。

一加入者が四個以上の子時計を設備するには、十二或は二十四ボルトの電池によつて働作するリレー親時計が必要で有る。前述の如く本装置は b 線の接地及断線を監視し得るの利益が有る。 (完)

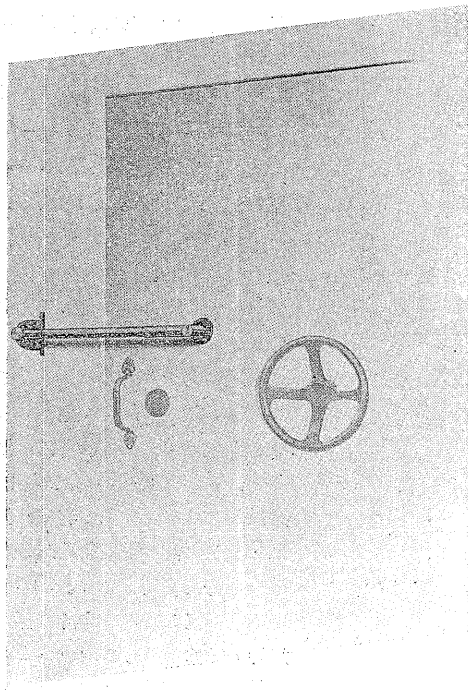
シ ー メ ン ス 盗 難 豫 防 装 置

金庫其他寶庫の保安用として從來シエメンズ社に於て振動を利用するペンデュラム接觸装置を有するものを供給して、各方面に多大の好評を博して居りました。

ことゝなり、曩には在柏林帝國銀行に於て同地各社品に就き機能の比較立會試験を施行せられましたところ、獨りシエメンズ社品のみが完全に動作するものなることが立證せられ、異常の面目を施しました。

最近各國に於て斯方面の利用が著しく重要視せらる

近來金庫破壊は噴焰器によつて、金庫扉を焼切る方



第一圖

保安ベンヂュラムを装置せる金庫扉

法のものが多い由ですが、前記の如き接觸方式による保安装置に對して、更に音を擴大傾聽し得る装置を組合せ使用する時は、實に申分ない保安装置が出来ることは何人にも氣附くことであります。シーメンス社は早くから斯方面の研究實驗の結果、極めて確實な聽音装置なるものを完成致しました。早速在伯林帝國銀行では此の兩組合せに成る保安装置六十五組發註せられ、更に各銀行會社等在伯林三十五社其他鐵道方面からも本保安装置の設置申出に接し、目下其實施に忙殺せられて居ります。

此の新闖入聽音装置は

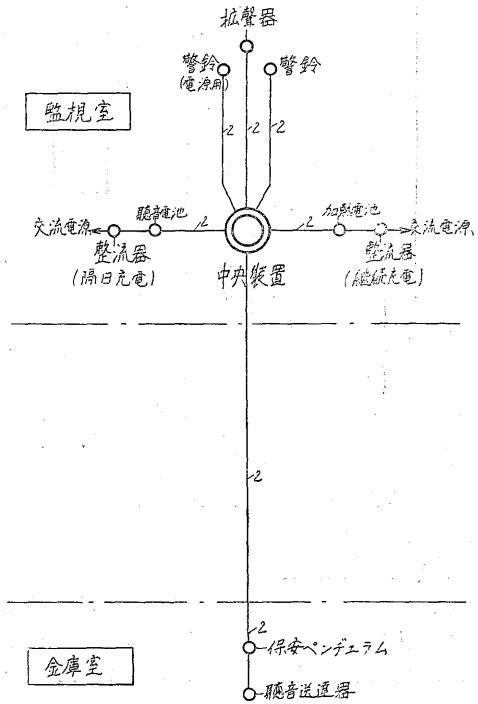
- 闖入聽音送達器 一ヶ以上
- 闖入聽音受報器 一ヶ

から成り、聽音受報器は本保安装置をして最も安全確實に動作せしむるために線路監視、其の他電源、増幅バルブの自働監視の装置を有し、之に接續せられた聽音送達器は金庫室内其の他適當なる個所に裝置せられて、本室内へ闖入するものある時、之によつて生ぜられた音は直ちに送達器を経て、監視室に在る受報器に到り繼電器によつて警鈴を動作せしめ、同時に之を示

す信號燈が點火致します。

此の繼電器側を擴聲器に切換へれば、之によつて闖入音を擴大して監視者に傳へます。受報器は三段増幅で微音と雖もよく之を擴大聽取出來ます。

此の聽音装置を從來のベンヂュラム式接觸装置と共に使用すれば、闖入者あると同時に、受報器は之を警報致し、闖入者の舉動は總て擴聲器を通じて明瞭に之を知ることが出來、且つ闖入者が金庫等に手を觸るれば、直ちにベンヂュラム接觸装置の動作によつて、擴聲器に激しい音響を生じ監視者をして時機を逸することなしに適當な手配を講ぜしめることが出來ます。



第二圖

闖入聽音装置の配置圖

送達器數は現場の状態によつて異なるけれども、大體に於て音を遮るものない室内面積四〇乃至五〇平方米に於ては一ヶにて宜しく、之以上の場合は送達器を並列に接續することになります。ベンヂュラム式接觸装置と併用する場合は之と直列に接續致します。

線路は既設電話用ケーブルを利用致し、晝間は本装置を開放し、夜分に於て右線路を本装置に切換へるやうにすれば、最も安全であると共に經濟的であります。(完)



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。